

# フィールドゴルフ競技規則

この競技規則は、羽村市スポーツ推進委員協議会主催の大会等において適用する。

## 1 競技方法

フィールドゴルフは、「ボール」を「クラブ」で打ち、「ホールポスト」または「ゴールハット」に入れる打数を競う競技である。

## 2 用具【別図1参照】

- 1) クラブ（フィールドゴルフ専用クラブ）
- 2) ボール
- 3) スタートマット
- 4) ホールポスト
- 5) ゴールハット

## 3 コース

- 1) 1ラウンドは18ホールとし、コース内にはラインやロープ等で仕切った障害物を設置できる。
- 2) 1つのホールの距離は100メートル以内とする。

## 4 グループ (班)

1グループは4名以下でコースを回る。グループの中の1名をマナーリーダーとし、競技終了までグループ内のマナーを監視し、ペナルティー等の判定等を行う。

## 5 ペナルティーゾーン【別図2参照】

- 1) ペナルティーゾーンはラインやロープ、縁石等で明確に区切られている池やコース外のプレーができない場所をいう。
- 2) ペナルティー（アウト）とセーフの違いは、ボールの停止位置を真上から見て、次のとおり判断する。
  - ① ボールが完全にペナルティーゾーンの中にある場合のみ、ペナルティーとする。
  - ② ボールが少しでもペナルティーゾーンの外にかかっている場合は、セーフとする。
- 3) ペナルティーゾーンに打込んだ場合は、次の自分の打順になったら、ボールを、停止位置からホールポスト（またはゴールハット）に近付かないコース内に置く。（ボールは打たず、打数のみ数える。）

## 6 スタート

打順はじゃんけん等で決め、競技終了まで同じ打順でプレーする。プレーヤーは周囲に危険が無いことを確かめてからスタートマットにセットしたボールを打ち、グループ全員が第1打を終了してから第2打地点へ進むこと。

## 7 競技進行に関すること

- 1) ボールは明瞭に打つこと。ヘッドで押し出したり、かき出したりしないこと。
- 2) ホールポスト、ゴールハット、主催者が設置した障害物は動かすことができない。  
(触れることもできない。)
- 3) 動かしてもよい障害物  
簡単に動かせる物で、土に食い込んでいない小石や枯葉、小枝、虫、糞などは取り除いてもよい。取り除いた結果ボールが動いた場合は反則とせず、ボールは元の位置に戻す。
- 4) 動かさない障害物  
前記3) 以外の簡単に動かさない物をいう。この障害物によりプレーができない場合は、自分の打順になったらマナーリーダーに申告し、ボールをホールポスト（またはゴールハット）に近付かないコース内に置く。(ボールは打たず、打数のみ数える。)
- 5) 打球が自分や他の人に当たっても、反則とせずプレーを続行する。
- 6) 打球が他のプレーヤーのボールに当たった場合
  - ① 当てられたボールは元の位置に戻す。
  - ② 当てたボールは停止した位置からプレーする。
- 7) 穴に落ちたり、障害物等の中などで打つことができない場合は、マナーリーダーに申告し、ボールをホールポスト（またはゴールハット）に近付かないコース内に置くことができる。(ボールは打たず、打数のみ数える。)
- 8) 自分のボールが他のプレーヤーの邪魔になる場合は、ホールポスト（またはゴールハット）に向かってボールの後ろにマークをしてからボールを拾い上げる。

## 8 反則

次の場合は反則とし、直後の打順ではボールは打たず、打数のみ数える。

- 1) ボールをマークしたり、ペナルティゾーン等で打つことができずに置き直す以外にボールに触れた場合。
- 2) 他のプレーヤーのボールを打った場合。(ボールは元の位置に戻す。)
- 3) ボールを見失った場合。(見失った地点(コース内)に新しいボールを置く。)

## 9 順位の決定

- 1) 18ホールの合計打数が少ない順とする。(少ない方を勝ちとする。)  
なお、同打数の場合は、年齢の高い方を勝ちとする。ただし、優勝決定戦のみプレーオフを採用する。
- 2) スコアカードの提出は、マナーリーダーのカードをもって行う。

## 10 その他

疑義が生じた場合は、審判長が判断する。